

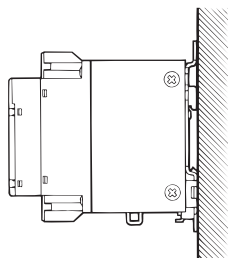
■正しくお使いください

●共通の注意事項は、「ソリッドステート・リレー 共通の注意事項」をご覧ください。

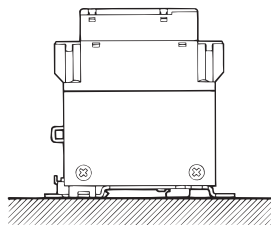
使用上の注意

●取り付け方法について

鉛直方向

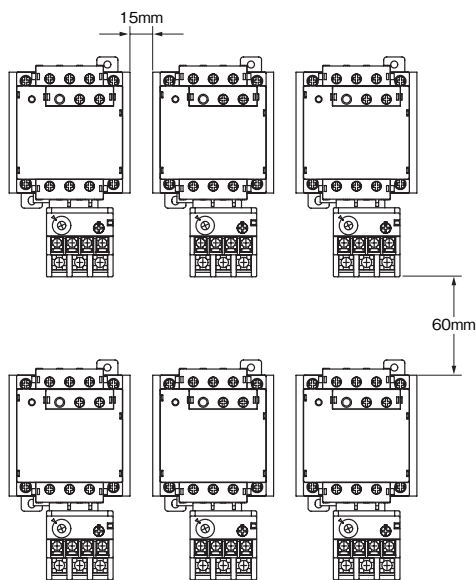


平面方向



注. 平面取り付けの場合は、40℃を超えて使用するときのみ定格負荷電流の50%でお使いください。

●密着取り付け



注. 横方向は15mm以上、縦方向はサーマルリレーを取りつけた状態で60mm以上間を開けてください。

●ソフトスタートタイプ、ソフトスタート/ストップタイプの電源供給について

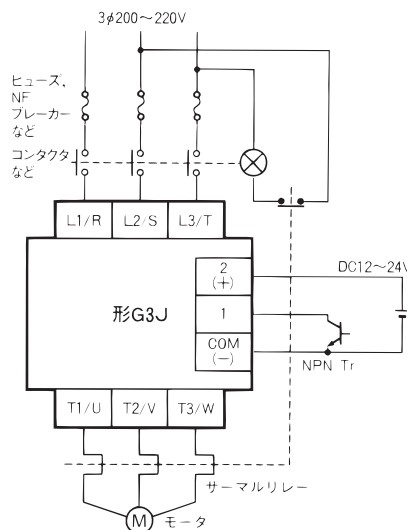
ソフトスタートタイプ形G3J-S□とソフトスタート/ストップタイプ形G3J-T□の操作入力はソフトスタート動作を安定して行うため十分電源が安定してから行ってください。

●配線について

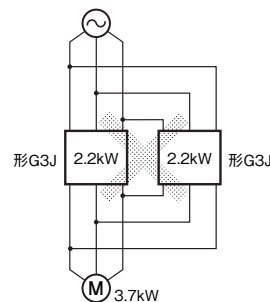
- ・リード線の太さは電流値にあったものを使用してください。
- ・3素子、2素子ともOFF状態でも出力端子T1、T2、T3は充電部となっており感電する場合があります。電源から切り離すため上位にブレーカーなどを配置してください。また、配線作業を行う場合には必ず電源を切った状態で行ってください。
- ・2素子タイプはL2-T2間が内部で短絡されているので、L2を電源の接地側に接続してください。L2を接地側以外に接続する場合にはモータの端子など充電部に感電・地絡を防ぐカバーなどを設けてください。
- ・高圧・動力線と形G3Jの配線を同一配管、あるいはダクトで行うと誘導を受け、誤動作または破損する場合があります。別配管としてください。
- ・モニタ出力に誘導負荷を接続される場合、必ずサージ吸収素子を使用してください。

●機器の保護について

・より安全にお使いいただくために、下図のように、形G3Jの upper段にコンタクトなどでラインをしゃ断することにより、さらに、安全性が向上します。



・複数台の形G3Jを並列接続し、容量を超えるモータを運転しないでください。故障の原因になります。



●各種ねじの締めつけについて

ユニットの各種ねじは誤動作などの原因にならないように規定のトルクにて締めつけてください。

締めつけトルク

出力端子(M4) : 1.2N・m

入力端子・モニタ出力端子(M3) : 0.6N・m

●使用条件について

- ・定格電流以上の電流は通電しないでください。異常発熱の原因となります。
- ・自己発熱による周囲温度の上昇に気をつけてください。特に盤内取り付けの場合は外気との換気が十分行えるようファンを取りつけてください。

●制動抵抗器について

・形G3Jは制動抵抗器は使用できません。